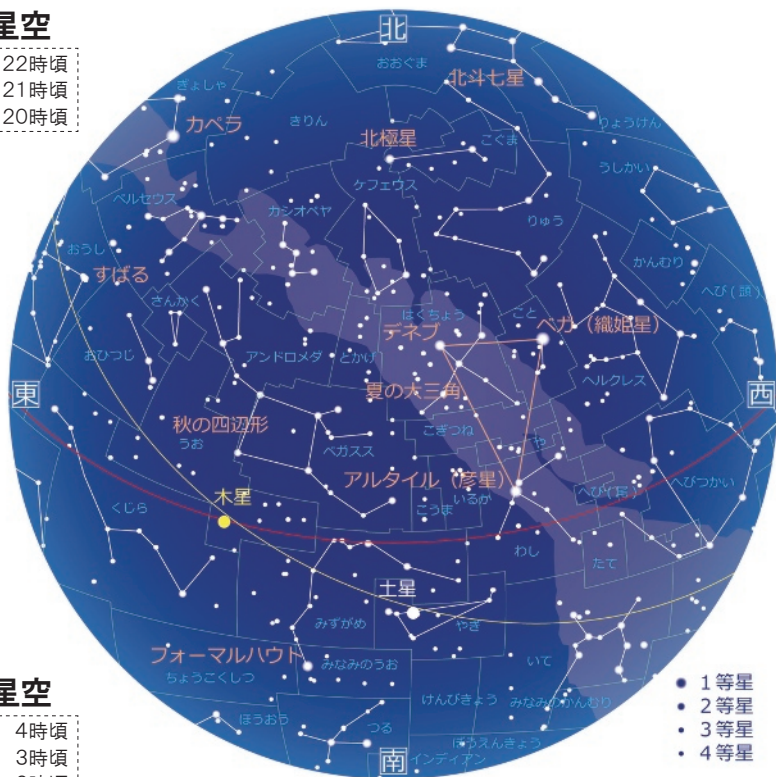


星空ガイド 9月16日～10月15日

よいの星空

9月16日22時頃
10月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

9月16日 4時頃
10月1日 3時頃
15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
9	16	金	5:41	18:04	21:32	11:25	19.8
	21	水	5:44	17:57	0:47	15:42	24.8
	26	月	5:48	17:49	5:48	18:10	0.2
10	1	土	5:52	17:42	11:20	21:05	5.2
	6	木	5:56	17:35	15:52	1:27	10.2
	11	火	5:59	17:29	18:21	7:03	15.2
	15	土	6:03	17:24	20:51	11:11	19.2

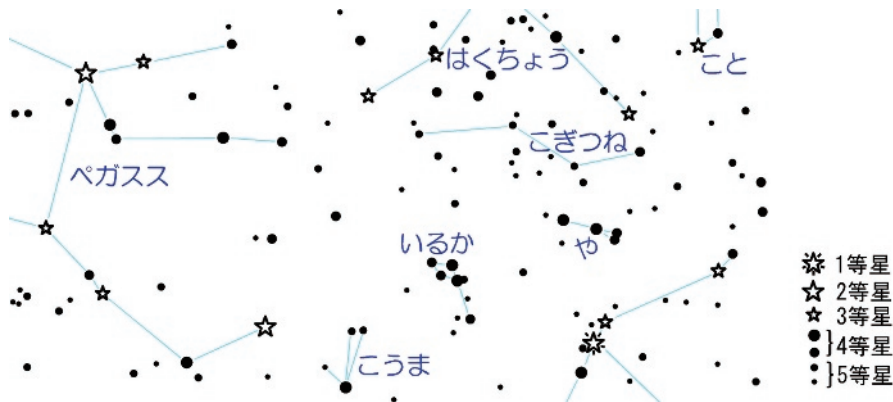
※惑星は2022年10月1日の位置です。

木星が観察好機

9月27日に木星が衝を迎え、観察の好機になっています。この前後の時期、木星はほぼ一晩中地平線にあって観察可能です。望遠鏡を使えば、特徴的な縞模様や、木星の周りを回っている4つの衛星を見ることができます。

や座、いるか座、こうま座、こぎつね座

はくちょう座、わし座、ペガサス座に囲まれたエリアに、や座、いるか座、こうま座、こぎつね座という小さな星座があります。や座やいるか座は、主な星は4等星なので、秋の透明度の高い天気の日であれば、ベッドタウンなどでも見つけることができるでしょう。こうま座は5等星が中心なので、少し都市から離れないと観察は難しいかもしれません。こぎつね座も5等星が中心ですが、形が結びにくい星座なので、より見つけにくいです。台風一過など、空気が澄んでいるお天気の日を狙ってチャレンジしてみましよう。



飯山 青海(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
9	17	土	海王星が衝/明け方の南東の空で月と火星が約4°離れて並ぶ
	18	日	●下弦(7時)
	20	火	月が最遠(404,556km)
	23	金	秋分(太陽黄経180°) 水星が内合(観察不適)
	26	月	●新月(7時)
	27	火	木星が衝
10	3	月	●上弦(9時)
	5	水	月が最近(369,325km)

月	日	曜	主な天文現象など
10	5	水	深夜西の空で月と土星が約5°離れて並ぶ
	8	土	寒露(太陽黄経195°)/後の月
	9	日	明け方の西の低空で、月と木星が約2°まで接近する 水星が西方最大離角(明け方東の空で観測好機)
	10	月	○満月(6時)
	15	土	明け方の南西の空で月と火星が約5°離れて並ぶ